

介護老人保健施設オアシス21 金子 壘(生活相談員)

功 績 超強化型老健の施設基準として必須である『地域貢献活動』をご利用者の『やりがい』と『社会参加』とを組み合わせボランテア活動を企画、実施。活動を通じて、ご利用者のやりがいと楽しみだけでなく、一般参加者から感謝の言葉も頂いた功績。

推 薦 者 宮前 元樹

推 薦 理 由 施設としてはいつもボランティアさんを探して受け入れる立場から、社会参加としてご利用者がボランティアに出かけるという、逆の発想から今回の活動に結び付きました。一般のボランティアさんからは感謝の言葉をいただき、参加されたご利用者からは喜びの言葉をいただきました。今後も介護老人保健施設オアシス21として地域貢献活動と社会参加の両方を結び付ける活動のきっかけになったと思い推薦いたします。

内 容

今年の介護報酬改定から超強化型老健の施設基準の一つとして『地域貢献活動』が必須となっています。以前より夏祭りの参加や地域清掃活動を入居ご利用者と一緒に行ってききましたが、冬場はほとんど出来ません。施設基準としては年間計画を立てていれば冬場は実施しなくても問題ありませんが、相談員の金子は「こちらだけの都合で行っている活動では本当の地域貢献とは言えない」と考え、また、地域清掃を通じて社会参加できることをご利用者が喜ばれていたことから、何とか冬場も活動を継続できないか模索していました。そのなか、地域情報誌でオアシス21も掲載している『ボランティア募集』のコーナーに、社会福祉協議会が募集しているボランティア活動【情報誌発送・切手整理・雑巾縫い】があることを発見。早速、ご利用者に趣旨を説明し参加を促したところ、『緊張するけど是非やってみよう』との返事をいただきました。

今回のボランティア内容は『情報誌発送』。ボランティアセンター内で、まさに今回のボランティア募集も載っている広報誌を封筒に入る大きさに折り、封筒に入れテープで封をするという作業で、一般ボランティアの方と混ざって笑顔で会話されながら作業を行いました。

今回は1時間の作業で終わりましたが、一般ボランティアの方からは「福祉の心に感謝します。私も歳をとってもできるよう見習いたいです。」と感謝の言葉をいただき、参加されたご利用者からは「参加する前は、かえって迷惑をかけるんじゃないかと思い心配でした。でも参加して良かった。自分が役に立って良かった。」と喜びの言葉がありました。